

自分探し 自分づくり

富田中学校 進路指導だより No.6
平成25年11月21日
文責 進路指導主事 積田育子

学習レベルアップのススメ

進路集会や三者相談を経て、子どもたちの話題も進路一辺倒になりつつあります。志望校に合格できるかどうか不安に思う声や、勉強方法に自信が持てず勉強が思うように進まなかったなどの声が多く聞かれます。

この時期はとにかく行動あるのみです。放課後や夜の長い時間は当然ながら、隙間の時間さえも勉強時間に充てられるよう、勉強中心の生活スタイルを1日も早く確立すること。郡山市内の中学生3000人が、まさに今、自分の合格を信じて勉強しています。

《50点を70点に！》

*基礎学力の補充に力を注ぎましょう。声を出して覚えると能率がいいです！

国語・・・漢字や文法の暗記、長文音読

社会・・・地理：都道府県名、国名の暗記 歴史：年表暗記 公民：重要語句暗記

数学・・・計算練習をパーフェクトに 定理を暗記

理科・・・重要語句の暗記 公式の暗記

英語・・・単語、熟語の暗記 簡単な単語は書けるように何度も練習



《130点OVER 苦手な教科がある人は要チェックです！》

*学習方法を見直しましょう。次の項目に当てはまる場合は改善の余地有ります。

□問題を解くが、丸付けをすぐしない。

→丸付けはすぐに行いましょう。できた問題とできなかった問題を洗い出し、できなかった問題について、覚え直しをすることこそが勉強です。

□問題を解いたあと丸付けをして、正しい答えを写して満足。

→正しい答えを書くのは大事なことです。しかし、それを覚えなかったらまた同じ間違いを繰り返すことになります。これも覚え直しをしなくてはなりません。

□重要語句をきれいにノートにまとめて満足。

→覚えるために書いているならば効果大です。しかし、書いただけで終わってしまっているならば覚えるための時間を多くとりましょう。

□問題はいつも1番から順序よく解くことにしている。

→悪いことではないのですが、勉強時間や内容によっては改善の必要があります。1番の問題は比較的簡単な場合が多いです。すでにわかっていることの確認に時間を割いてしまっているのは、もったいない！自分に必要な問題をピックアップして、集中的に補充することが何よりです。

□わからない問題があると、そこで考え込んでしまい時間がたっていく。

→解答を参考にしましょう。そして、どこをどう覚えればいいのかを考えることです。

*テストや練習問題へのチャレンジで、間違った問題の『どこで、なぜ間違ったか』を必ずチェックしましょう。そこが、覚えるヒントになります。また、答え方と同時に問題も覚えることも忘れずに行いたいことの一つです。テストでは、できる問題を確実に点に結びつけたいものです。難しい問題を後に回し、簡単な問題は確実にミスなく解くこと！最後に、問題はヒントの宝庫！問題の3回読みは鉄則！！

《目指せ200点越え》

*過去問を解きましょう。でも、だらだらと問題と戦っている場合ではないので、制限時間内に、速く、正確に解くためのトレーニングを心がけましょう。本番の試験は概ね50分です。その中には、名前を書く時間、(できれば)見直しをする時間が必要。そこで、家で過去問を解く場合には、必ずタイマー(時計)を準備しましょう。そして、実際の制限時間の1割引の時間(欲を言えば2割引)で解くのです。このことを繰り返すことで、設問の何問目にどのぐらいの時間をかけたらいいか、時間短縮を図るためには、どの部分を補充強化したらいいかがわかってきます。

時間配分は実力のうちです。時間内に解けなかったものは、できるはずの問題だろうと得点には結びつかないのです。そのことを肝に銘じて、制限時間を意識した勉強をしていきましょう。

毎日を振り返って・・・

今後授業で学習する内容は受験に直結するもの満載です。これまでの授業態度を見直すとともに、その時間内に集中して覚えきることで、より効率的な学習となります。そうすると学級の雰囲気も大事！あるクラスでは、登校するとすぐに学習し始め、8時にはほぼ全員が整然と学習しています。すばらしいことです。

受験勉強は特別な時間ではありません。受験生が行う学習すべてが、受験勉強です。

県立高校の入試情報が更新されています。詳しくは各高校のHPを参照下さい。
裏面に、提出用紙の提出日の訂正のお願いがあります。ご覧下さい。

保護者の皆様へ

提出用紙の期日の訂正をお願いします

『県立高等学校 I 期選抜受験確認書』

提出校内締め切り ~~11月28日~~ (水) 朝

『願書に願いを込めて』

27日

福島県郡山市

提出締め切り ~~11月30日~~ (水) 朝

大変申し訳ありません。よろしくお願い致します。

『願書に願いを込めて』の続柄の書き方は次のようお願いします

保護者の方の氏名 [

子どもからみた続柄 ()

保護者からみた続柄 ()]

「子」とせずに、「長女」・「二女」のように書いてください
(願書への記入がこの書き方なので)

※すでに提出済みのものは、生徒に確認し、こちらで訂正させていただきます。

